

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	京奈和自動車道のICアクセス向上によるネットワーク形成及び関西広域連携機能強化											
計画の期間	平成31年度～令和05年度(5年間)											
交付対象	大阪府											
計画の目標	関西大環状道路の一部を形成する京奈和自動車道の整備に合わせ、高速道路ICにアクセスする府県間道路等を整備することで広域ネットワークの形成を図り、物流の効率化による都市・地域の立地競争力の強化を目指す。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	29,690	A	29,690	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					(H31当初)	(H33末)	(H35末)
1	ICアクセスに係る時間の短縮を図り、ネットワークの機能を向上させる。 ICアクセス時間短縮率 〔ICアクセス時間短縮率(%)〕 = { [要素事業の現道での所要時間(分)] - [要素事業供用による所要時間(分)] } / [要素事業の現道での所要時間(分)]		0%		0%		27%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-



## 事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪府道路室で評価を実施	令和3年4月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ICアクセスに係る時間の短縮に向け事業実施中
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和2年度より「ストック効果を重視したアクセス道路の整備による地域・拠点の連携強化」に移行し、ICアクセスに係る時間の短縮に向け、引き続き事業進捗を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	27%	令和2年度より「ストック効果を重視したアクセス道路の整備による地域・拠点の連携強化」に移行
	最終実績値	0%	